

目次

次

口 絵

発刊のことば

例 言

第一編 自然

第一章 概 説

貫入岩類

1 辻地向斜 2 竹場向斜 3 野間背斜 4 倉掛断層

30

第二章 地形と地質

二 地質構造

1 青木期以前(別所期) 2 青木期 3 小川期 4 柵

34

第三章 気 候

三 地 史

1 青木期以前(別所期) 2 青木期 3 小川期 4 柵

34

第一節 地 形

一 麻績地域の地形発達と区分

8

30

第二節 各地形区の特色

一 残丘地形としての筑北三山 2 準平原と段丘地形

3

30

第三節 麻績川のつくった谷底平野

1 残丘地形としての筑北三山 2 準平原と段丘地形

3

30

第二編 地 質

一 地質各論

15

30

第一節 地質各論

1 層序 2 細田砂岩泥岩互層 3 赤松泥岩砂岩互層

4

30

第二節 地質各論

1 差切礫岩砂岩層 5 重夾炭層 6 高桑凝灰岩層 7 辻

8 長岩礫岩砂岩泥岩層 9 すずらん

30

第三節 地質各論

1 湖安山岩層 10 冠着凝灰角礫岩層 11 聖山火山岩

12 大町テフラ層 13 段丘堆積物・沖積層

30

第三編 地 質

一 地質各論

15

30

第一節 地質各論

1 層序 2 細田砂岩泥岩互層 3 赤松泥岩砂岩互層

4

30

第二節 地質各論

1 差切礫岩砂岩層 5 重夾炭層 6 高桑凝灰岩層 7 辻

8 長岩礫岩砂岩泥岩層 9 すずらん

30

第三節 地質各論

1 湖安山岩層 10 冠着凝灰角礫岩層 11 聖山火山岩

12 大町テフラ層 13 段丘堆積物・沖積層

30

第四編 地 質

一 地質各論

15

30

第一節 地質各論

1 層序 2 細田砂岩泥岩互層 3 赤松泥岩砂岩互層

4

30

第二節 地質各論

1 差切礫岩砂岩層 5 重夾炭層 6 高桑凝灰岩層 7 辻

8 長岩礫岩砂岩泥岩層 9 すずらん

30

第三節 地質各論

1 湖安山岩層 10 冠着凝灰角礫岩層 11 聖山火山岩

12 大町テフラ層 13 段丘堆積物・沖積層

30

第五編 地 質

一 地質各論

15

30

第一節 地質各論

1 層序 2 細田砂岩泥岩互層 3 赤松泥岩砂岩互層

4

30

第二節 地質各論

1 差切礫岩砂岩層 5 重夾炭層 6 高桑凝灰岩層 7 辻

8 長岩礫岩砂岩泥岩層 9 すずらん

30

第三節 地質各論

1 湖安山岩層 10 冠着凝灰角礫岩層 11 聖山火山岩

12 大町テフラ層 13 段丘堆積物・沖積層

30

第六編 地 質

一 地質各論

15

30

第一節 地質各論

1 層序 2 細田砂岩泥岩互層 3 赤松泥岩砂岩互層

4

30

第二節 地質各論

1 差切礫岩砂岩層 5 重夾炭層 6 高桑凝灰岩層 7 辻

8 長岩礫岩砂岩泥岩層 9 すずらん

30

第三節 地質各論

1 湖安山岩層 10 冠着凝灰角礫岩層 11 聖山火山岩

12 大町テフラ層 13 段丘堆積物・沖積層

30

第七編 地 質

一 地質各論

15

30

第一節 地質各論

1 層序 2 細田砂岩泥岩互層 3 赤松泥岩砂岩互層

4

30

第二節 地質各論

1 差切礫岩砂岩層 5 重夾炭層 6 高桑凝灰岩層 7 辻

8 長岩礫岩砂岩泥岩層 9 すずらん

30

第三節 地質各論

1 湖安山岩層 10 冠着凝灰角礫岩層 11 聖山火山岩

12 大町テフラ層 13 段丘堆積物・沖積層

30

第八編 地 質

一 地質各論

15

30

第一節 地質各論

1 層序 2 細田砂岩泥岩互層 3 赤松泥岩砂岩互層

4

30

第二節 地質各論

1 差切礫岩砂岩層 5 重夾炭層 6 高桑凝灰岩層 7 辻

8 長岩礫岩砂岩泥岩層 9 すずらん

30

第三節 地質各論

1 湖安山岩層 10 冠着凝灰角礫岩層 11 聖山火山岩

12 大町テフラ層 13 段丘堆積物・沖積層

30

第九編 地 質

一 地質各論

15

30

第一節 地質各論

1 層序 2 細田砂岩泥岩互層 3 赤松泥岩砂岩互層

4

30

第二節 地質各論

1 差切礫岩砂岩層 5 重夾炭層 6 高桑凝灰岩層 7 辻

8 長岩礫岩砂岩泥岩層 9 すずらん

30

第三節 地質各論

1 湖安山岩層 10 冠着凝灰角礫岩層 11 聖山火山岩

12 大町テフラ層 13 段丘堆積物・沖積層

30

第十編 地 質

一 地質各論

15

30

第一節 地質各論

1 層序 2 細田砂岩泥岩互層 3 赤松泥岩砂岩互層

4

30

第二節 地質各論

1 差切礫岩砂岩層 5 重夾炭層 6 高桑凝灰岩層 7 辻

8 長岩礫岩砂岩泥岩層 9 すずらん

30

第三節 地質各論

1 湖安山岩層 10 冠着凝灰角礫岩層 11 聖山火山岩

12 大町テフラ層 13 段丘堆積物・沖積層

30

第十一編 地 質

一 地質各論

15

30

第一節 地質各論

1 層序 2 細田砂岩泥岩互層 3 赤松泥岩砂岩互層

4

30

第二節 地質各論

1 差切礫岩砂岩層 5 重夾炭層 6 高桑凝灰岩層 7 辻

8 長岩礫岩砂岩泥岩層 9 すずらん

30

第三節 地質各論

1 湖安山岩層 10 冠着凝灰角礫岩層 11 聖山火山岩

12 大町テフラ層 13 段丘堆積物・沖積層

30

第十二編 地 質

一 地質各論

15

30

第一節 地質各論

1 層序 2 細田砂岩泥岩互層 3 赤松泥岩砂岩互層

4

30

第二節 地質各論

1 差切礫岩砂岩層 5 重夾炭層 6 高桑凝灰岩層 7 辻

8 長岩礫岩砂岩泥岩層 9 すずらん

30

第三節 地質各論

1 湖安山岩層 10 冠着凝灰角礫岩層 11 聖山火山岩

12 大町テフラ層 13 段丘堆積物・沖積層

30

第十三編 地 質

一 地質各論

15

30

第一節 地質各論

1 層序 2 細田砂岩泥岩互層 3 赤松泥岩砂岩互層

4

30

第二節 地質各論

1 差切礫岩砂岩層 5 重夾炭層 6 高桑凝灰岩層 7 辻

8 長岩礫岩砂岩泥岩層 9 すずらん

30

第三節 地質各論

1 湖安山岩層 10 冠着凝灰角礫岩層 11 聖山火山岩

12 大町テフラ層 13 段丘堆積物・沖積層

30

第十四編 地 質

一 地質各論

15

30

第一節 地質各論

1 層序 2 細田砂岩泥岩互層 3 赤松泥岩砂岩互層

4

30

第二節 地質各論

1 差切礫岩砂岩層 5 重夾炭層 6 高桑凝灰岩層 7 辻

8 長岩礫岩砂岩泥岩層 9 すずらん

30

第三節 地質各論

1 湖安山岩層 10 冠着凝灰角礫岩層 11 聖山火山岩

12 大町テフラ層 13 段丘堆積物・沖積層

30

第十五編 地 質

一 地質各論

15

30

第一節 地質各論

1 層序 2 細田砂岩泥岩互層 3 赤松泥岩砂岩互層

4

30

第二節 地質各論

1 差切礫岩砂岩層 5 重夾炭層 6 高桑凝灰岩層 7 辻

8 長岩礫岩砂岩泥岩層 9 すずらん

30

第三節 地質各論

1 湖安山岩層 10 冠着凝灰角礫岩層 11 聖山火山岩

12 大町テフラ層 13 段丘堆積物・沖積層

30

第十六編 地 質

一 地質各論

15

30

第一節 地質各論

1 層序 2 細田砂岩泥岩互層 3 赤松泥岩砂岩互層

4

30

第二節 地質各論

1 差切礫岩砂岩層 5 重夾炭層 6 高桑凝灰岩層 7 辻

8 長岩礫岩砂岩泥岩層 9 すずらん

30

第三節 地質各論

1 湖安山岩層 10 冠着凝灰角礫岩層 11 聖山火山岩

12 大町テフラ層 13 段丘堆積物・沖積層

30

第十七編 地 質

一 地質各論

15

30

第一節 地質各論

1 層序 2 細田砂岩泥岩互層 3 赤松泥岩砂岩互層

4

30

第二節 地質各論

1 差切礫岩砂岩層 5 重夾炭層 6 高桑凝灰岩層 7 辻

8 長岩礫岩砂岩泥岩層 9 すずらん

第四節 両生類	114
一 無尾目類	
二 有尾目類	
第五節 魚類	116
第六節 昆虫類	116
一 蝶類	
1 早春のシロチヨウの類	119
2 聖高原の蝶類	119
3 麻績で注目したい蝶二種	119
4 その他の蝶類	119
二 蛾類	122
第二編 歴史	
第一章 概説	139
第一節 原始の麻績	139
第二節 古代の麻績	140
第三節 中世の麻績	141
第四節 近世の麻績	143
第一節 二つの槍先形尖頭器	147
第二章 原始の麻績	147
稻作技術の伝播 弥生時代の立石ムラ 山を意識しはじめた弥生人	
第三章 古代の麻績	153
第一節 麻績川流域に葬られた首長たち	156
第二節 山吹堂遺跡の槍先形尖頭器	147
第三節 稲作をはじめた弥生人	148
第二節 繩文時代の生活	148
一 押型文土器を用いた人々	148
二 狩猟と漁労の生活	149
三 繩文文化の隆盛	149
四 繩文文化の衰退	149
第七節 クモ類	135
三 トンボ類	133
四 カマキリ類	131
五 バッタ・キリギリス・コオロギなどの鳴き虫の類	129
六 ウンカ・カメムシ・タガメなどの類	128
七 クワガタムシ・カブトムシ・カミキリムシなどの類	128
八 カ・ハエ・アブなどの類	128
九 ハチ・アリの類	125
1 誘蛾灯に集まる蛾類 2 その他目につく蛾類 3 聖高原およびその付近の蛾類目録	

安坂將軍塚古墳と渡来人 後期古墳の拡大 武士塚一号古墳の 発掘 横穴式石室と副葬品 古東山道と農民の生活	190
第三節 新補地頭服部氏・伊賀氏の入部	191
一 伊賀氏の入部	191
新補地頭と服部伊賀守	191
二 伊賀氏と矢倉郷 伊賀氏の陰謀と光宗の配流 信生法師麻績 (矢倉)に光宗を尋ねる	190
第四節 南北朝前後	197
一 麻績御厨十日市場の戦い	197
北條時興と麻績附近の情勢 麻績御厨十日市場の戦い	197
二 宗良親王と更級の里 (麻績)	199
三 大塔合戦と麻績山城守	202
大塔合戦の遠因 大塔合戦 村上勢の中の麻績山城守	202
第五節 戰国期の動乱	205
一 動乱筑北地方へ波及	205
戰国期の筑北地方	205
二 服部(麻績)氏の入部と没落	207
服部氏の出自と服部清信 武田氏の侵入、服部清正越後へ走る	207
服部清正の麻績城復帰と没落 麻績神明宮と服部加信斎 麻績 十騎考	205
三 青柳(麻績)氏の麻績地方支配	214
青柳の出自と麻績(青柳)小四郎 麻績(青柳)清長と生島足 島神社の起請文 青柳(麻績)頼長小笠原貞慶に頼る 春日氏 青柳城主となる 頼長青柳城復帰と滅亡	205
四 下枝(麻績)氏友麻績城主となる	225
第二節 更級郡から筑摩郡に	162
一 麻績御厨の退転	164
二 麻績御厨の退転	164
三 麻績御厨の退転	187
四 麻績御厨の退転	185
五 麻績御厨の退転	185
六 麻績御厨の退転	183
七 麻績御厨の退転	177
八 麻績御厨の退転	174
九 麻績御厨の退転	170
十 麻績御厨の退転	168
十一 麻績御厨の退転	162
第三節 東山道支道の麻績駅	164
一 麻績駅の位置と役割	164
二 麻績駅の整備	164
三 東山道支道の整備	164
四 大化の革新と道の整備	164
五 東山道支道の整備	164
第四節 麻績神明宮と麻績御厨の成立	168
一 神社のはじまり 麻績神明宮の勧請と御厨の創建 平正弘と保 元の乱 再び伊勢神宮領へ	168
二 麻布の生産地麻績 野口遺跡のオンドルのある家	168
第五節 平安時代の農民のくらし	170
第六節 姉捨の月と姉捨伝説の里	174
第七節 福満寺と山岳仏教	177
一 仏教の普及 定額寺としての安養寺 平安仏教の抬頭 山寺岩殿 寺と別所開発 山岳仏教と福満寺	177
第四章 中世の麻績	183
第一節 麻績御厨の推移と退転	183
一 麻績御厨の推移	185
二 麻績御厨の推移	185
三 麻績御厨の推移	185
四 麻績御厨の退転	187
五 麻績御厨の退転	187
六 麻績御厨の退転	187
七 麻績御厨の退転	187
八 麻績御厨の退転	187
九 麻績御厨の退転	187
十 麻績御厨の退転	187
十一 麻績御厨の退転	187
十二 麻績御厨の退転	187
十三 麻績御厨の退転	187
十四 麻績御厨の退転	187
十五 麻績御厨の退転	187
十六 麻績御厨の退転	187
十七 麻績御厨の退転	187
十八 麻績御厨の退転	187
十九 麻績御厨の退転	187
二十 麻績御厨の退転	187
二十一 麻績御厨の退転	187
二十二 麻績御厨の退転	187
二十三 麻績御厨の退転	187
二十四 麻績御厨の退転	187
二十五 麻績御厨の退転	187
二十六 麻績御厨の退転	187
二十七 麻績御厨の退転	187
二十八 麻績御厨の退転	187
二十九 麻績御厨の退転	187
三十 麻績御厨の退転	187
三十一 麻績御厨の退転	187
三十二 麻績御厨の退転	187
三十三 麻績御厨の退転	187
三十四 麻績御厨の退転	187
三十五 麻績御厨の退転	187
三十六 麻績御厨の退転	187
三十七 麻績御厨の退転	187
三十八 麻績御厨の退転	187
三十九 麻績御厨の退転	187
四十 麻績御厨の退転	187
四十一 麻績御厨の退転	187
四十二 麻績御厨の退転	187
四十三 麻績御厨の退転	187
四十四 麻績御厨の退転	187
四十五 麻績御厨の退転	187
四十六 麻績御厨の退転	187
四十七 麻績御厨の退転	187
四十八 麻績御厨の退転	187
四十九 麻績御厨の退転	187
五十 麻績御厨の退転	187
五十一 麻績御厨の退転	187
五十二 麻績御厨の退転	187
五十三 麻績御厨の退転	187
五十四 麻績御厨の退転	187
五十五 麻績御厨の退転	187
五十六 麻績御厨の退転	187
五十七 麻績御厨の退転	187
五十八 麻績御厨の退転	187
五十九 麻績御厨の退転	187
六十 麻績御厨の退転	187
六十一 麻績御厨の退転	187
六十二 麻績御厨の退転	187
六十三 麻績御厨の退転	187
六十四 麻績御厨の退転	187
六十五 麻績御厨の退転	187
六十六 麻績御厨の退転	187
六十七 麻績御厨の退転	187
六十八 麻績御厨の退転	187
六十九 麻績御厨の退転	187
七十 麻績御厨の退転	187
七十一 麻績御厨の退転	187
七十二 麻績御厨の退転	187
七十三 麻績御厨の退転	187
七十四 麻績御厨の退転	187
七十五 麻績御厨の退転	187
七十六 麻績御厨の退転	187
七十七 麻績御厨の退転	187
七十八 麻績御厨の退転	187
七十九 麻績御厨の退転	187
八十 麻績御厨の退転	187
八十一 麻績御厨の退転	187
八十二 麻績御厨の退転	187
八十三 麻績御厨の退転	187
八十四 麻績御厨の退転	187
八十五 麻績御厨の退転	187
八十六 麻績御厨の退転	187
八十七 麻績御厨の退転	187
八十八 麻績御厨の退転	187
八十九 麻績御厨の退転	187
九十 麻績御厨の退転	187
九十一 麻績御厨の退転	187
九十二 麻績御厨の退転	187
九十三 麻績御厨の退転	187
九十四 麻績御厨の退転	187
九十五 麻績御厨の退転	187
九十六 麻績御厨の退転	187
九十七 麻績御厨の退転	187
九十八 麻績御厨の退転	187
九十九 麻績御厨の退転	187
一百 麻績御厨の退転	187
一百一 麻績御厨の退転	187
一百二 麻績御厨の退転	187
一百三 麻績御厨の退転	187
一百四 麻績御厨の退転	187
一百五 麻績御厨の退転	187
一百六 麻績御厨の退転	187
一百七 麻績御厨の退転	187
一百八 麻績御厨の退転	187
一百九 麻績御厨の退転	187
一百十 麻績御厨の退転	187
一百十一 麻績御厨の退転	187
一百十二 麻績御厨の退転	187
一百十三 麻績御厨の退転	187
一百十四 麻績御厨の退転	187
一百十五 麻績御厨の退転	187
一百十六 麻績御厨の退転	187
一百十七 麻績御厨の退転	187
一百十八 麻績御厨の退転	187
一百十九 麻績御厨の退転	187
一百二十 麻績御厨の退転	187
一百二十一 麻績御厨の退転	187
一百二十二 麻績御厨の退転	187
一百二十三 麻績御厨の退転	187
一百二十四 麻績御厨の退転	187
一百二十五 麻績御厨の退転	187
一百二十六 麻績御厨の退転	187
一百二十七 麻績御厨の退転	187
一百二十八 麻績御厨の退転	187
一百二十九 麻績御厨の退転	187
一百三十 麻績御厨の退転	187
一百三十一 麻績御厨の退転	187
一百三十二 麻績御厨の退転	187
一百三十三 麻績御厨の退転	187
一百三十四 麻績御厨の退転	187
一百三十五 麻績御厨の退転	187
一百三十六 麻績御厨の退転	187
一百三十七 麻績御厨の退転	187
一百三十八 麻績御厨の退転	187
一百三十九 麻績御厨の退転	187
一百四十 麻績御厨の退転	187
一百四十一 麻績御厨の退転	187
一百四十二 麻績御厨の退転	187
一百四十三 麻績御厨の退転	187
一百四十四 麻績御厨の退転	187
一百四十五 麻績御厨の退転	187
一百四十六 麻績御厨の退転	187
一百四十七 麻績御厨の退転	187
一百四十八 麻績御厨の退転	187
一百四十九 麻績御厨の退転	187
一百五十 麻績御厨の退転	187
一百五十一 麻績御厨の退転	187
一百五十二 麻績御厨の退転	187
一百五十三 麻績御厨の退転	187
一百五十四 麻績御厨の退転	187
一百五十五 麻績御厨の退転	187
一百五十六 麻績御厨の退転	187
一百五十七 麻績御厨の退転	187
一百五十八 麻績御厨の退転	187
一百五十九 麻績御厨の退転	187
一百六十 麻績御厨の退転	187
一百六十一 麻績御厨の退転	187
一百六十二 麻績御厨の退転	187
一百六十三 麻績御厨の退転	187
一百六十四 麻績御厨の退転	187
一百六十五 麻績御厨の退転	187
一百六十六 麻績御厨の退転	187
一百六十七 麻績御厨の退転	187
一百六十八 麻績御厨の退転	187
一百六十九 麻績御厨の退転	187
一百七十 麻績御厨の退転	187
一百七十一 麻績御厨の退転	187
一百七十二 麻績御厨の退転	187
一百七十三 麻績御厨の退転	187
一百七十四 麻績御厨の退転	187
一百七十五 麻績御厨の退転	187
一百七十六 麻績御厨の退転	187
一百七十七 麻績御厨の退転	187
一百七十八 麻績御厨の退転	187
一百七十九 麻績御厨の退転	187
一百八十 麻績御厨の退転	187
一百八十一 麻績御厨の退転	187
一百八十二 麻績御厨の退転	187
一百八十三 麻績御厨の退転	187
一百八十四 麻績御厨の退転	187
一百八十五 麻績御厨の退転	187
一百八十六 麻績御厨の退転	187
一百八十七 麻績御厨の退転	187
一百八十八 麻績御厨の退転	187
一百八十九 麻績御厨の退転	187
一百九十 麻績御厨の退転	187
一百九十一 麻績御厨の退転	187
一百九十二 麻績御厨の退転	187
一百九十三 麻績御厨の退転	187
一百九十四 麻績御厨の退転	187
一百九十五 麻績御厨の退転	187
一百九十六 麻績御厨の退転	187
一百九十七 麻績御厨の退転	187
一百九十八 麻績御厨の退転	187
一百九十九 麻績御厨の退転	187
一百二十 麻績御厨の退転	187
一百二十一 麻績御厨の退転	187
一百二十二 麻績御厨の退転	187
一百二十三 麻績御厨の退転	187
一百二十四 麻績御厨の退転	187
一百二十五 麻績御厨の退転	187
一百二十六 麻績御厨の退転	187
一百二十七 麻績御厨の退転	187
一百二十八 麻績御厨の退転	187
一百二十九 麻績御厨の退転	187
一百三十 麻績御厨の退転	187
一百三十一 麻績御厨の退転	187
一百三十二 麻績御厨の退転	187
一百三十三 麻績御厨の退転	187
一百三十四 麻績御厨の退転	187
一百三十五 麻績御厨の退転	187
一百三十六 麻績御厨の退転	187
一百三十七 麻績御厨の退転	187
一百三十八 麻績御厨の退転	187
一百三十九 麻績御厨の退転	187
一百四十 麻績御厨の退転	187
一百四十一 麻績御厨の退転	187
一百四十二 麻績御厨の退転	187
一百四十三 麻績御厨の退転	187
一百四十四 麻績御厨の退転	187
一百四十五 麻績御厨の退転	187
一百四十六 麻績御厨の退転	187
一百四十七 麻績御厨の退転	187
一百四十八 麻績御厨の退転	187
一百四十九 麻績御厨の退転	187
一百五十 麻績御厨の退転	187
一百五十一 麻績御厨の退転	187
一百五十二 麻績御厨の退転	187
一百五十三 麻績御厨の退転	187
一百五十四 麻績御厨の退転	187
一百五十五 麻績御厨の退転	187
一百五十六 麻績御厨の退転	187
一百五十七 麻績御厨の退転	187
一百五十八 麻績御厨の退転	187
一百五十九 麻績御厨の退転	187
一百六十 麻績御厨の退転	187
一百六十一 麻績御厨の退転	187
一百六十二 麻績御厨の退転	187
一百六十三 麻績御厨の退転	187
一百六十四 麻績御厨の退転	187
一百六十五 麻績御厨の退転	187
一百六十六 麻績御厨の退転	187
一百六十七 麻績御厨の退転	187
一百六十八 麻績御厨の退転	187
一百六十九 麻績御厨の退転	187
一百七十 麻績御厨の退転	187
一百七十一 麻績御厨の退転	187
一百七十二 麻績御厨の退転	187
一百七十三 麻績御厨の退転	187
一百七十四 麻績御厨の退転	187
一百七十五 麻績御厨の退転	187
一百七十六 麻績御厨の退転	187
一百七十七 麻績御厨の退転	187
一百七十八 麻績御厨の退転	187
一百七十九 麻績御厨の退転	187
一百八十 麻績御厨の退転	187
一百九十一 麻績御厨の退転	187
一百九十二 麻績御厨の退転	187
一百九十三 麻績御厨の退転	187
一百九十四 麻績御厨の退転	187
一百九十五 麻績御厨の退転	187
一百九十六 麻績御厨の退転	187
一百九十七 麻績御厨の退転	187
一百九十八 麻績御厨の退転	187
一百九十九 麻績御厨の退転	187
一百二十 麻績御厨の退転	187
一百二十一 麻績御厨の退転	187
一百二十二 麻績御厨の退転	187
一百二十三 麻績御厨の退転	187
一百二十四 麻績御厨の退転	187
一百二十五 麻績御厨の退転	187
一百二十六 麻績御厨の退転	187
一百二十七 麻績御厨の退転	187
一百二十八 麻績御厨の退転	187
一百二十九 麻績御厨の退転	187
一百三十 麻績御厨の退転	187
一百三十一 麻績御厨の退転	187
一百三十二 麻績御厨の退転	187
一百三十三 麻績御厨の退転	187
一百三十四 麻績御厨の退転	187
一百三十五 麻績御厨の退転	187
一百三十六 麻績御厨の退転	187
一百三十七 麻績御厨の退転	187
一百三十八 麻績御厨の退転	187
一百三十九 麻績御厨の退転	187
一百四十 麻績御厨の退転	187
一百四十一 麻績御厨の退転	187
一百四十二 麻績御厨の退転	187
一百四十三 麻績御厨の退転	187
一百四十四 麻績御厨の退転	187
一百四十五 麻績御厨の退転	187
一百四十六 麻績御厨の退転	187
一百四十七 麻績御厨の退転	187
一百四十八 麻績御厨の退転	187
一百四十九 麻績御厨の退転	187
一百五十 麻績御厨の退転	187
一百五十一 麻績御厨の退転	187
一百五十二 麻績御厨の退転	187
一百五十三 麻績御厨の退転	187
一百五十四 麻績御厨の退転	187
一百五十五 麻績御厨の退転	187
一百五十六 麻績御厨の退転	187
一百五十七 麻績御厨の退転	187
一百五十八 麻績御厨の退転	187
一百五十九 麻績御厨の退転	187
一百六十 麻績御厨の退転	187
一百六十一 麻績御厨の退転	187
一百六十二 麻績御厨の退転	187
一百六十三 麻績御厨の退転	187
一百六十四 麻績御厨の退転	187
一百六十五 麻績御厨の退転	187
一百六十六 麻績御厨の退転	187
一百六十七 麻績御厨の退転	187
一百六十八 麻績御厨の退転	187
一百六十九 麻績御厨の退転	187
一百七十 麻績御厨の退転	187
一百七十一 麻績御厨の退転	187
一百七十二 麻績御厨の退転	187
一百七十三 麻績御厨の退転	187
一百七十四 麻績御厨の退転	187
一百七十五 麻績御厨の退	

五 天正末年の境界争い
更級・筑摩の郡境争い

史話 猿が馬場峠に伝えられる悲話

第六節 御秋くばり日記

一 御秋くばり日記

二 日記でみる麻績村の概況

第七節 山城と居館跡

一 虚空藏山城

虚空藏山城跡 虚空藏山城の時代的推移

二 麻績城

麻績城跡 のろし山 木曾殿城跡 矢ばさま 小丸山砦跡 麻

績城の時代的推移

三 矢倉城

矢倉城跡

四 高城

高城跡 物見岩と旗塚 細川遠見 見立原と手取 越道 念珠

原 稲荷山小砦跡 高城の時代的推移

五 服部氏古屋敷

第八節 麻績に出土した中世の考古資料

第五章 近世の麻績

第一節 支配関係の変遷

一 松本藩領時代

松本藩と農民 石川氏 小笠原氏 戸田氏 松平氏 堀田氏

水野氏

二 幕府領（天領）時代

250

246

246

245

243

241

237

236

233

232

232

231

228

227

226

第二節 郷村の構成

一 組分けと組手代（大庄屋）

1 組分け以前の筋 組分け 享保十年以降の組分け

2 大庄屋（割元役・組手代）

二 村役人

1 村方三役

名主 組頭 百姓代

2 その他の村役

定使 差示 年寄 立合 山見役・宿場役人

3 村役人の選出・給与・年令

村役人の選出 村役人の給与 村役人の年令

4 名主の引継書類

三 五人組

五人組改帳 組織と連帶責任

四 村入用

1 支出

割掛け方 村入用夫錢の推移

2 割付け

五 御触書・村定

御条目・御触書

2 高札

275

270

268

陣屋支配

幕府領 陣屋支配としくみ 松本城収公期 坂木陣屋 飯島陣屋
塙尻陣屋 御影陣屋 中野陣屋 西条出張陣屋 松島出張陣屋
中之条陣屋

2 松本藩預り所支配

松本藩預りと組分け 再び陣屋支配から預りへ

第五節 街道と宿場	一 北国脇往還と麻績宿 1 北国脇往還（善光寺街道） 宿の成立 宿の構成・規模 目明し 自身番 問屋 本陣 旅籠屋 信心と交易の道 一里塚	321 320
第三節 戸 口	<p>一 宗門改めと檀家制</p> <p>二 戸口の推移と構成</p> <p>1 戸口の推移</p> <p>2 家族構成</p> <p>3 年令構成</p>	284 284 289 289 294
第四節 檢地と貢租	<p>一 檢 地</p> <p>1 天正検地（太閤検地）</p> <p>2 慶長検地</p> <p>3 寛永検地</p> <p>4 慶安検地</p> <p>5 麻績町村の再検地（延宝検地）</p> <p>6 檢地帳の形式と内容</p> <p>農民階層 檢地小帳（下げ札）</p> <p>7 新切検地</p>	308 295 295 295 295 295 294
二 貢 租	<p>1 貢租の賦課・収納</p> <p>(1) 年貢免状</p> <p>(2) 賈済目録</p> <p>(3) 石代納</p> <p>(4) 年貢払通</p> <p>2 定免制と破免</p>	364 355 355 355 355
二 商業的農業	<p>1 農作物</p> <p>(1) 農業技術</p>	352
三 灌溉用水	<p>麻 紙漉 養蚕 千瓢 漆 其の他の産物</p>	352
二 番 所	<p>1 麻績町番所</p> <p>2 高村番所</p> <p>3 間道番人</p>	333 333 333
三 伝馬と助郷	<p>1 伝馬</p> <p>2 助郷</p> <p>馬繙場附け通し出入</p> <p>馬と中馬</p> <p>馬役心得</p> <p>主な御通行御継立</p> <p>駄賃錢 人馬先触</p> <p>伝馬役心得</p> <p>加助郷と天野助次郎</p>	342
第六節 近世の産業	<p>一 主穀農業</p> <p>1 土地所有と農民</p> <p>耕地と農民 切添と開発 田畠の売買と質入</p> <p>2 農作物と農業技術</p>	352

第八節 地名	
一 数多い地名	413
二 地名の由来	414
1 変わりゆく地名	
2 古い地名・新しい地名	
3 城に關係の深い地名	
4 麻績城跡 虚空藏山城跡 高城跡 青柳城跡 信仰その他の地名	
三 本村に残された地名の記録	416
四 麻績村の地字名	417
1 旧村別地名表	
市野川村 麻績町村 矢倉村 野口村 下井堀村 上井堀村 桑山村 高村 桑閑村	
2 麻績村地名図	
第九節 教育と文化	
一 寺子屋と家塾	438
教授内容と教導法 登山・東脩・謝儀	
二 筆塚と師匠の略歴	438
三 心学の普及	438
第十節 神社と寺院	
一 神社	450
1 神社の役割と分布	
二 事件と訴訟	450
1 村方出入り	
2 貞享騒動	
3 領界訴訟	
(1) 聖山論争	
(2) 猿ヶ馬場蜂説争	
第七節 江戸時代の諸相	
一 災害と救済	387
1 地震	
2 火災	
3 因作	
4 救済	
(1) 備荒貯穀	
(2) 救恤	
二 事件と訴訟	400
1 村方出入り	
2 貞享騒動	
3 領界訴訟	
(1) 聖山論争	
(2) 猿ヶ馬場蜂説争	
第六節 沼池と用水堰	
一 沼池の維持管理	384
沼池の普請	
二 各村の沼池	384
1 御林	
2 私有林	
3 林産物	
用材 薪炭	
三 本村に残された地名の記録	384
四 麻績村の地字名	384
1 旧村別地名表	
市野川村 麻績町村 矢倉村 野口村 下井堀村 上井堀村 桑山村 高村 桑閑村	
2 麻績村地名図	

権現と明神

2 主な神社

神明宮	市野川神社	諫訪神社	日向神社	麻績神社	天王社	阿妻
屋神社	金比羅神社	秋葉神社	太神宮社	秋葉社	太神宮社	天白
社						

二 寺 院……

1 寺院の役割と分布

終南山光明院善導寺	布光山福満寺	麻績山光明寺	仏眼山法善寺
楊柳山宗善寺	岩井堂	珠月山西光寺	上野山海善寺

3 諸堂

付 麻績村旧村三役人名簿

477

刊行関係者名簿

504

麻績村歴史年表

493

麻績村誌編纂会役員名簿
麻績村誌編纂委員会名簿
資料提供者名簿

あ と が き

別添袋入り

麻績村地質図

麻績村現存植生図